

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

11月報

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ : 報告10件(前月比1.4、前年同月比0.2)でした。昨年同月と比較しても少数で、人吉地区5件、熊本地区4件、八代地区1件の報告でした。寒気の強まりにつれて、今後例年どおり増加してくるものと思われます。

小児科定点

(全体傾向)

報告数3,695件(前月比0.86、前年同月比1.38)で、全体的に前月から減少しています。RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナの減少によるものです。一方、伝染性紅斑と流行性耳下腺炎は11月も多く、例年になく多数の報告数で推移しており注目されます。とくに伝染性紅斑は依然として増加傾向が続いています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告件数202件(前月比0.8、前年同月比0.5)でした。11月は減少に転じ、今年は例年と比較すると流行のピークが低いようです。その中で菊池地区からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数97件(前月比1.1、前年同月比2.1)でした。10月は倍増していますが、11月はほぼ横ばい状態で推移しています。菊池、有明地区からの報告が若干多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数311件(前月比1.0、前年同月比1.2)でした。11月は横ばい状態でしたが、例年、年末に向けて増加傾向を認めるため、今後の推移に注意を要します。菊池、熊本、天草地区からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1,976件(前月比0.9、前年同月比1.7)でした。11月は減少に転じていますが、例年、12月、1月にピークがみられることが多く、今後増加するものと予想されます。
5. 水痘 : 報告数37件(前月比1.1、前年同月比0.2)でした。例年に比較し毎月少数の報告で推移しており、年間を通しても漸減傾向を認めます。定期接種にともなうワクチンの効果と考えられます。
6. 手足口病 : 報告数85件(前月比0.3、前年同月比0.4)でした。7月のピーク後は毎月減少傾向を示していますが、11月はさらに減少し今年最少の件数となっています。その中で菊池地区からの報告が目立ちます。
7. 伝染性紅斑 : 報告数320件(前月比1.2、前年同月比53.3)でした。今年6月から増加を認め例年になく多い報告数で推移しています。11月の前年同月比では53.3と昨年と比べて顕著な増加がみられ、増加傾向は現在も続いています。3~4歳を中心に1歳から小学低学年まで幅広い年齢層で見られます。とくに菊池地区からの報告が目立ちます。胎児期の感染により胎児水腫や流産が報告されており、妊婦さんの感染には注意が必要です。
8. 突発性発疹 : 報告数130件(前月比0.7、前年同月比0.8)でした。ほぼ例年並みの推移を示していますが、昨年と比較しやや少ないようです。
9. 百日咳 : 報告数0件(前月比一、前年同月比一)でした。10月、11月と2ヶ月続いて報告はありませんでした。
10. ヘルパンギーナ : 報告数31件(前月比0.3、前年同月比1.1)でした。7月の急峻なピーク後は毎月減少していく例年並みの推移を示しています。その中で菊池、天草地区からの

報告が若干多いようです。

1. 流行性耳下腺炎 : 報告数221件(前月比1.0、前年同月比4.9)でした。今年は例年と比較し多く、特に6月以降は増加傾向がみられます。11月は10月とほぼ同数の横ばい状態でした。宇城、有明、菊池、山鹿からの報告が多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告数1件(前月比一、前年同月一) 2歳幼児で有明からの報告です。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数143件(前月比0.6、前年同月3.8)と先月よりほぼ半減していますが、前年同月と比べますとまだ約4倍の発症です。
地区別では熊本118件、有明18件、菊池5件、八代2件とまだ熊本、有明地区での発症が目立ちます。
年齢別も先月同様、1~6歳の乳幼児層に多くの発症が見られ、今後も注意が必要です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 : 報告数39件(前月比0.7、前年比0.8)で、前月比、前年比共に減少しています。男女別は、男性18件、女性21件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は20~69歳と幅広い年齢に見られ、女性は15~49歳に見られます。地域別は、熊本が22件、次いで八代、有明各5件、宇城4、御船2件、菊池1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 : 報告数20件(前月比1.4、前年比1.3)で、前月比、前年比共に増加しています。男女別は、男性8件、女性12件でした。年齢別は、男性は35~69歳に見られ、女性は15~70歳以上と幅広い年齢に見られます。地域別は、熊本11件、次いで菊池、八代各3件、宇城2件、有明1件でした。
3. 尖圭コンジローマ : 報告数2件(前月比0.7、前年比0.3)で、前月比、前年比共に減少しています。男女別は、男性1件、女性1件で、年齢別は40~44歳、女性は20~24歳でした。地域別は、有明、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症 : 報告数15件(前月比1.5、前年比1.4)で、前月比、前年比共に増加しています。男女別は、男性14件、女性1件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は20~64歳に見られ、女性は30~34歳に見られます。地域別は、熊本が13件、次いで御船、宇城各1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 11件(前月比0.6、前年比0.5)の報告がありました。
熊本5件、菊池1件、八代2件、水俣1件、人吉1件、天草1件でした。
年齢は55~59歳:1件、60~64歳:1件、70歳以上:9件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 : 3件(前月比0.5、前年比1.0)の報告がありました。
熊本2件、人吉1件でした。
年齢は60~64歳:1件、70歳以上:2件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 : 報告ありませんでした。(前月比-、前年比-)

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 : 3件(前月比3.0、前年比3.0)の報告がありました。
熊本3件でした。年齢は60~64歳:2件、70歳以上:1件でした。
2. 無菌性髄膜炎 : 5件(前月比1.0、前年比5.0)の報告がありました。
熊本5件でした。年齢は5~9歳:2件、25~29歳:3件でした。
3. マイコプラズマ肺炎 : 25件(前月比0.5、前年比2.1)の報告がありました。
熊本17件、水俣3件、人吉1件、有明4件でした。
年齢は0歳:1件、1~4歳:8件、5~9歳:6件、10~14歳:6件、15~19歳:1件、
20~24歳:1件、40~44歳:2件でした。
4. クラミジア肺炎 : 報告ありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)
5. 感染性胃腸炎(ロタウイルス) : 8件(前月比4.0、前年比8.0)の報告がありました。
熊本8件でした。年齢は0歳:1件、1~4歳:7件でした。

届け出対象感染症

- | | | |
|-------|-------------------|-------|
| 1類感染症 | : 報告はありませんでした。 | |
| 2類感染症 | : 結核 | : 39件 |
| 3類感染症 | : 報告はありませんでした。 | |
| 4類感染症 | : つつが虫病 | : 6件 |
| | : 日本紅斑熱 | : 2件 |
| | : レジオネラ症 | : 1件 |
| 5類感染症 | : カルバペネム耐性腸内細菌感染症 | : 3件 |
| | : 侵襲性肺炎球菌感染症 | : 1件 |